

令和5年度公衆衛生活動対策専門委員会

■ 日 時 令和6年2月29日(木) 午後2時～午後2時40分

■ 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町
鳥取県西部医師会館 米子市久米町

■ 出席者 17人

〈鳥取県健康会館〉岡田委員長、清水・辻田・加藤・廣岡・山本・米本各委員
健対協事務局：岡本事務局長、岩垣次長、井上主事
〈鳥取県中部医師会館〉深田・小倉・池山各委員
〈鳥取県西部医師会館〉能勢・尾崎・佐々木各委員

挨拶（要旨）

〈岡田委員長〉

年度末も近づきお忙しい中、ご参加いただきありがとうございます。後程議事でも触れるが、コロナの影響も緩和され、自粛が続いていた本委員会の活動も回復しつつある。新しい取り組みもしていただいているが、引き続きアイデアを出していただければと思う。活発な議論をお願いしたい。

報 告

1. 令和4年度事業報告及び令和5年度事業中間報告

（1）健康教育事業：岡田委員長より説明

①日本海新聞健康コラム「保健の窓」は公開健康講座の講演内容について掲載しているが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症の影響のため公開健康講座が中止となっており、掲載されていない。令和5年5月から公開健康講座を再開し、2月までに10回を開催した。再開後は低迷していた来場者が、鳥取市報に掲載したことにより来場者の増加がみられた。「保健の窓」

も2月末までに11回掲載している。

②日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を、令和4年度は37回、令和5年度は2月現在20回掲載した。令和4年10月からは名称が「健康相談室鳥取県医師会Q&A」となり、掲載も月2回に変更となっている。

一般の方から疾病に関する質問を受付け、それに対する回答を掲載している。

③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

令和4年度も、毎月1回、鳥取県健康会館において鳥取県医師会公開健康講座を計画していたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止となっている。令和5年度は2月までに10回開催した。

なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年16回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち7回を生活習慣病セミナーにあて、中西の2地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施した。

（2）地域保健対策：岡田委員長より報告

令和2年度から、鳥大医学部環境予防医学分野尾崎米厚教授を中心に、鳥取県においては予防、

検診から治療まで様々ながん対策に取り組まれているものの、全国に比較して罹患率が高い状況が続いており、鳥取県特有のがんリスク要因の究明を目的として、5つのがん（胃、肺、乳、肝、膵）を対象とした「鳥取県がん症例対照研究」を行った。県内のがん患者及び健常者に対するアンケート調査を実施し、比較検討することで課題解決に向けた分析を行った。

調査時期が新型コロナウイルス感染症のパンデミック期と重なったため、症例数が想定より少なく、部位別症例数が最も多かった乳がんについての解析を実施した。

ピロリ菌検査の未検や乳腺炎の既往、血縁者のがんの家族歴あり、高頻度のかけ醤油やコンビニ利用等が予防因子であった。がん検診受診者の対象群は健康意識が高い可能性がある。高頻度のかけ醤油は塩分摂取の多さを連想させるが、メカニズムは不明である。

（３）生活習慣病対策事業

①地区における健康教育

〈東部医師会（加藤委員）〉

1. 救急医療講習会は令和4、5年度中止となった。
2. 鳥取市民健康ひろばによる健康相談は、令和4、5年度中止となった。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を令和5年3月2日に開催した。また、令和6年3月2日にも開催予定。
4. 各会員による健康教育講演は、令和4年度は13回、令和5年度は12月末で14回行われている。新型コロナウイルス感染症の影響で、感染防止対策が取りやすい小・中学校、保健センター等を中心に開催している。

〈中部医師会（深田委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」について、令和4年度は10月2日に倉吉保健所長の平賀先生に「新型コロナと保健所の対応」、鳥取看護大学の荒川教授に「パンデミックの経験を生活の知恵に活かす」と題してご講演いただき、参

加者は22名であった。令和5年度は10月15日に岡山大学大学院の芦田耕三教授に「健やかに年を重ねるために―老年科医からの提言フレイル・サルコペニアについて」、三朝温泉病院の明里理学療法士に「今日が一番若い時～今日から始めるフレイル予防に効果的な運動方法～」と題してご講演いただき、参加者は77名であった。

2. 各会員による健康教育講演は、令和4年度は32回、令和5年度は12月現在で20回行っている。がん予防の話や、学校での禁煙防止、薬物乱用防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（佐々木委員）〉

1. 健康教育講座を令和4年度は米子市内の公民館で9回、境港市で1回行った。令和5年度は12月現在で米子市内の公民館等で9回、境港市で1回行った。
2. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を計画していたが、令和4年度は中止し、対面での講演ができないので、10分程度の講演動画をYouTubeに公開している。令和5年5月から再開し、12月までに8回開催した。
3. 各会員による健康教育講演は、令和4年度は16回行った。
4. 中海テレビで医師の出演による「健康ぷらざ（5分番組）」が毎月放送されている。

②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

令和4年度は11件、令和5年度は2月現在で30件の相談があった。コロナ前は50件前後あった相談件数も、コロナ禍で非常に少なくなっていたが、回復傾向にあり今後、件数も増えていくのではと思う。

2. 令和6年度事業計画（案）：

岡田委員長より説明

（1）健康教育事業

- ①日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間12回掲載続行予定。
- ②日本海新聞健康コラム「健康相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回）に掲載継続予定。
- ③鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

（2）地域保健対策

「鳥取県がん症例対照研究」は終了し、他の部会に当てはまらない研究等を検討中。

〈意見等〉

- ・鳥取県の医療が新型コロナウイルス感染症から受けた影響の検証
- ・コロナの抗体の保有状況に関する研究、細胞性免疫に関する研究
⇒費用があれば、職員の健診時に実施することも可能。
- ・住民のがん検診受診勧奨に対する心理的手法に関係した研究

（3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。